

奈良國道（國道十五號線）

本改良工事ヲ執行スル國道十五號線ハ京都市ヨリ奈良市、高田町、五條町ヲ經テ和歌山市ニ達スル路線ニシテ交通上重要幹線ニ屬スルモノナリ

奈良市内ノ一部ハ既ニ縣ニ於テ改良シタルモ郡部ニ出テ、ハ一般ニ路幅三米六乃至五米ノ矮路ニシテ極端ナル屈曲多ク鐵道トノ平面交又亦數ヶ所ヲ有シ現代交通ノ要求ニ適應セス之カ改良ヲ急務トスルノ狀況ナリ仍テ政府ニ於テ昭和七、八兩年度ニ於テ奈良市三條町省線奈良驛前ヨリ山邊郡二階堂村ニ至ル延長八、六八七米（内治道村二階堂村間一、三六二米ハ用地買收ノミヲ行フ）ノ改良工事施行中ニシテ奈良驛前ヨリ市ノ西端ヲ南行シ鐵道櫻井線ヲ横斷シテ全線ノ西方ヲ終点ニ至ル直線狀新線路ヲ決定セリ

昭和七年度事業

本年度ハ政府産業發事業トシテ工費二十萬圓ヲ以テ奈良市三條町省線驛前ヨリ添上郡明治村北ノ庄ニ至ル延長三、五三〇米ノ改良工事ヲ施行セルカ内起點ヨリ市内五三

五米ノ區間ハ路床工事ニ止メ八年度ニ於テ鋪裝工事ヲ施行スルコト、シ又櫻井線横斷個所三三二米ハ交叉工事ノ方法等ニ關シ鐵道省トノ交渉ノ結果高速度車道ノ跨線橋架設工事ヲ施行スルコト、セリ

新道路ハ起点ヨリ直線狀ヲ以テ殆ト正南ニ向ヒ郡部ニ於テハ大体現在路線ヲ利用スルヲ適當ト認メ其ノ屈曲ヲ廢シタルモノニシテ有効幅員九米、步車道ノ區別ヲ設ケス砂利敷道トス

尙本區間中岩井川(辰市村東九條地内)ニ岩井橋ヲ新設セリ、橋長二六、四米、徑間七、四米三連橋台、橋脚混凝土上部ハ鐵筋混凝土T型桁橋トス

本事業ハ工事開始遅レタル爲七年度ニ於テ尙未竣功ニ屬セシモノアリ八年度ニ繰越シ施行中ナリ

昭和八年度事業

本年度執行區間ハ添上郡明治村北ノ庄前年度施工終点ヨリ山邊郡二階堂村ニ至ル延長五、一五七米ヲ改良スルノ外前年度路床工事ニ止メタル奈良市内五三、五米ノ鋪裝工事並鐵道交叉個所延長三三、二米ノ跨線橋工事ニシテ工費三十萬圓ヲ以テ銳意進工中

ニ屬ス

明治村北ノ庄ヨリ治道村横田ニ至ル延長三、七九五米ヲ本年度ニ於テ新設ヲ爲シ之ヨリ南二階堂村迄一、三六二米ハ用地買収ニ止メ工事ハ後年度ニ讓ルコト、ナレリ

新設道路ハ路面有効幅員九米、步車道ノ區別ヲ設ケス砂利敷トス、又市街地鋪裝部分ハ有効幅員一、二、四米内、步道各二米、車道八、四米トシ、步道ハ混凝土上膠泥鋪裝、車道ハ混凝土一層式鋪裝トス、鐵道跨線橋ハ當初差當リ平面交叉ノ豫定ナリシモ、后鐵道省トノ協議決定ニヨリテ中央高速度車道幅員六米ヲ立体交叉トシテ跨線橋ヲ架設スルコト、シ、兩側低速車道ハ各幅員四、五米、鐵道踏切部ニ於テ高架橋下一個所ニ集中スルノ設計ナリ

尙此外ニ小橋梁二個所ヲ有シ何レモT型桁鐵筋混凝土橋トス

國道十五號線 (奈良縣)

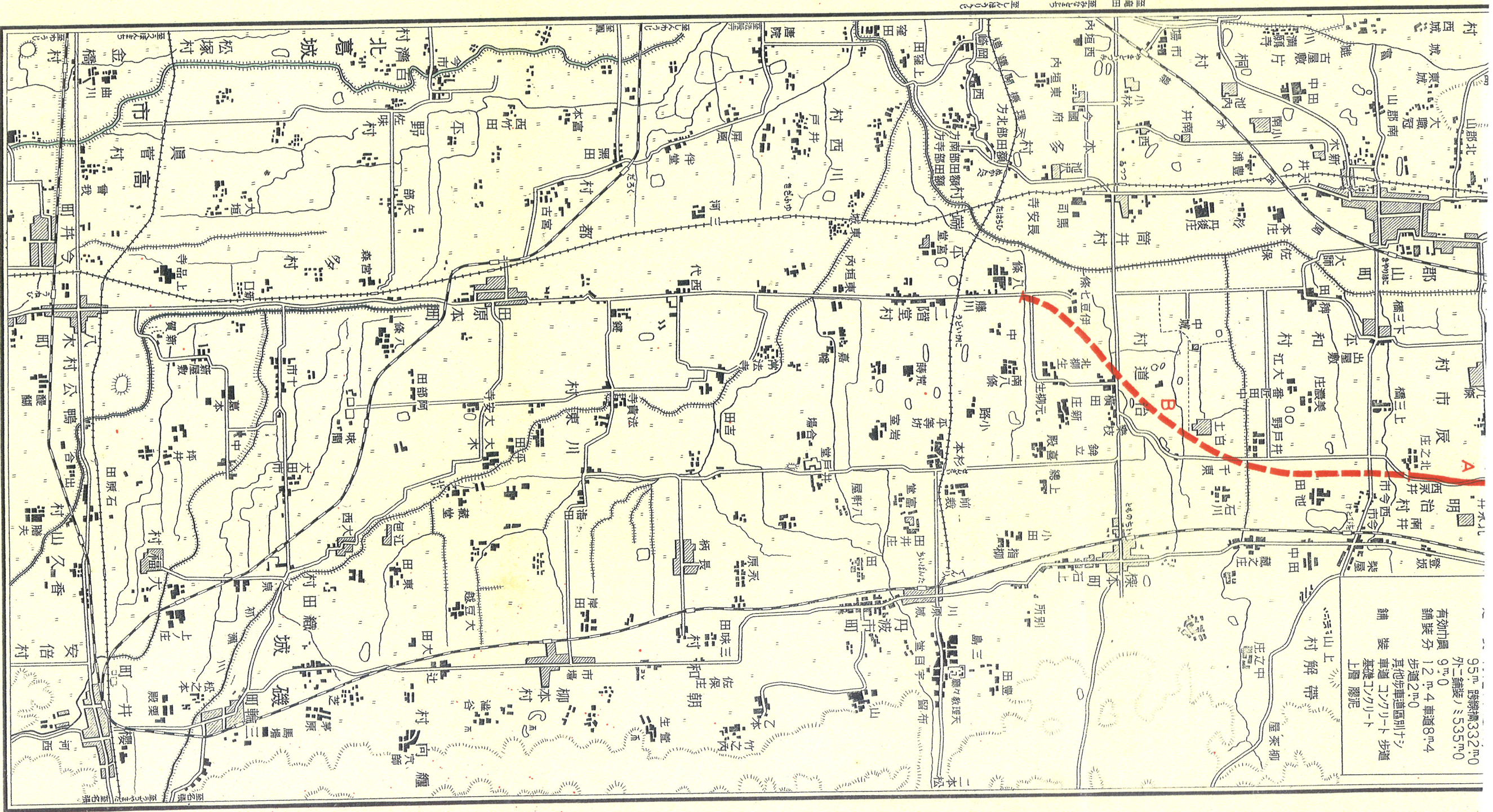
五五

事項	事業年度	
	昭和七年	昭和八年
工事施行區間	奈良縣 自奈良市三條町至添上郡明治村北ノ庄	奈良縣 自奈良市三條町內山邊郡二階堂村內
工事施工延長	三、五三〇米	六、〇二四米
道路	三、五〇三米六	五、三三三米
橋梁	二六米四六	三、七七九米
幅員 (有効)	九米〇〇	一、三六二米
市接近部	一一米〇〇	三三二米
區別	ナシ	一六米
歩道	三十分ノ一	九米
最急勾配	三十分ノ一	二米四
最小屈曲 (半徑)	五〇〇米	八米四
路面鋪裝	砂利敷	鋪裝部兩側各其他區別ナシ
		鋪裝部
		鋪裝部兩側各其他區別ナシ
		二米〇
		五十分ノ一
		五〇〇米

事項	事業年度	
	昭和七年	昭和八年
工事	車道	基礎混凝土 上層膠泥
豫算	二〇〇、〇〇〇圓	三〇〇、〇〇〇圓
決算	一九九、五〇七圓	
着手年月日	昭和七年九月七日	昭和八年五月一日
竣功年月日	昭和七年九月廿五日	施行中
使用勞働者	八月末現在	八月末現在
延人員	六六、〇九二人	三〇、一〇八人
一日平均	二五二人	二四五人

五六

95m 跨橋幅332m⁰
 外二鋪接ノミ535m⁰
 有効幅員 9m⁰
 歩道2m⁰ 車道8m⁴
 其他歩車道區別ナシ
 裝車道コノカート
 舗 基礎コンクリート
 上層 膠泥



第拾五號奈良國良改道工事平面圖

縮尺五分之一

